



## レトロな路地に新しい賑わいを 荒神堂まつり実行委員会

尾道の商店街の中に荒神堂という通りがあります。この通りの歴史は古く、尾道が北前船で賑わった江戸時代以来、港と本通り・千光寺道をつなぐメイン・ストリートとして賑わいを見せました。荒神堂の名は、火の神・竈(かまど)の神として知られる荒神様を祀る社(堂)があったことに由来します。

尾道の商店街は江戸時代の古地図と見比べても、店名こそ変わっていますが、お店の形の多くは変わっていません。

荒神堂通りには短いながらもお店が並び、独特のレトロ感があります。「この通りの魅力をPRしたい、人の流れを商店街に呼び込みたい」というつぶやきをきっかけに、同じ思いを持つ仲間が集まりました。

### 仕事帰りに気軽に立ち寄れる場づくり

「路上で食べたり飲んだりできる場を作れば、仕事帰りにも気軽に立ち寄れるのでは」ということから、立ち飲みができる路地祭をしようという企画が始まりました。

こうして、荒神堂路地祭は平成29年6月30日に始まり、これまでに7回開催しています。

集まってお店を出すだけでなく、何か楽しいきっかけを作ろうということで、ドレスコードを設けました。最初のドレスコードは浴衣にし、貸出と



ドレスコードは学生服で♪



大学生デザイン荒神堂の路地

着付けも行いました。その後は学生服、12月にはクリスマスパーティをイメージした服装としました。もちろん普通の服装での参加もOKです。

### 動き出すと仲間が広がっていく

話のきっかけは2、3人からでしたが、まずやってみよう動き出すと、仲間が広がったことはとても嬉しいことでした。

荒神堂通りをはじめ、商店街の店主さんのほか、「NPO法人おのみち街づくりラボ」とも連携し、チラシのデザインには尾道市立大学の学生も加わりました。また、活動に賛同された県外からの仲間は、動画の撮影で情報発信に協力してくれました。

出店者も商店街だけでなく、違う場所で店舗を構えている店や、この機会にやりたかったお店をやってみようという個人など、参加者は広がっていきました。

大変なこと、困ったこと、迷惑をかけてしまったことなどありますが、やってみなければわからないことです。続けていけば次回への改善につながり、よりよい開催ができていくと思います。

こうした商店街や尾道の街の賑わいづくりを考え、話し合い、実行に移す機会があることがとても良いことだと思っています。

### これからも魅力を伝えて賑わいづくりを

今回は4月5日(金)に開催予定です。よりよい路地祭が開催できるよう、参加者の声を聞きながら、荒神堂の魅力伝え、商店街への賑わいづくりにつなげていきたいと考えています。

あなたも、ちょっと一杯、ちょっと一口美味しいものを口にしていきませんか。

☎荒神堂まつり実行委員会

(☎090-7129-0756 代表:林)

地域の特徴を活かした活動をしている人や団体をご存じの方は情報をお寄せください。

☎政策企画課(☎0848-38-9435) ✉kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp